

平成 27 年度 (2015 年)

一般財団法人 前田一步園財団

前田一步園財団自然環境保全活動助成事業

「いわみざわふるさと青少年少女保全活動」

岩見沢子ども環境保全づくり協議会

ぼくたちは、一般財団法人前田一步園財団では、人だけではなく、動物も植物も地球もみんなのために土地を貸して森づくりをしていることを知りました。ぼくたちには考えられないことで、前田一步園財団で行って勉強しようとなり、自然環境保全活動助成事業へ応募して、「いわみざわふるさと青少年少女保全活動」として、学習する機会を与えていただきました。

ぼくたちは、平成 27 年 10 月 31 日土曜日から 11 月 1 日日曜日まで、前田一步園財団へ行き、前田一步園財団の管理山林を歩いてお話を聞きました。

森林では、枯れてしまった木や倒れた木がありましたが、それにも大切な役割がありました。枯れてしまった木は、虫のすみかとなり、その虫は鳥たちのえさになります。また、倒れた木にコケがはえ、コケは木の種が芽を出しやすい場所になり、そこからまた、植物が生まれてきていました。

そんな森林の木も、たくさんのシカがきて、木の皮を食べてしまいます。木の皮を食べられると、木は死んでしまいますので、木にネットをかけたり、シカのえさをまいたりして、木を守っていました。

また、世界で唯一、球状マリモが群生する湖沼群として、1934 年 12 月 4 日に道内初の国立公園に指定された阿寒湖には、特別天然記念物 阿寒湖のマリモがあります。阿寒湖のマリモは、細い糸状で水中を浮遊して、きれいな球状のものは阿寒湖だけで、球状になるのは遠浅の湖底を持つなどの条件が阿寒湖にあるそうです。

しかし、過去に阿寒湖の周りの木々を伐採して、山からの土砂が湖に流れ、湖が汚れて、マリモが少なくなりました。そこで、湖の水質を良くするため、山を元のように戻そうと植樹するとともに、密集している木々のところは間伐したりしました。間伐した森には、日が差し込み、草が生えます。間伐していない森は、細い木が多く、土も弱いそうです。

森林は土を守り、マリモも守りました。

ひとはひとを守る。自然は自然を守る。人は自然を守る。自然は人を守る。お互いに守るそうです。それが、持続ある暮らしや慶びのある暮らしができるそうです。

ぼくたちも、できるだけ環境を美化し、植樹もしなければならぬと思いました。

ぼくたちは、知らなかった自然や森のことを教えていただいたお礼に、前田一步園をつくった人の銅像をふき掃除したり、公園のごみを拾ったりして、清掃活動をしました。これからも、自然の循環を考えて環境を良くしていきたいと思います。

記

- 1 研修期日 平成 27 年 10 月 31 日（土）から 11 月 1 日（日）
- 2 研修場所 釧路市阿寒湖町阿寒湖温泉
- 3 研修施設 阿寒湖まりむ館（観光案内所）
前田一步園財団管理山林 3092 班
マリモ展示観察センター
阿寒湖アイヌコタン
前田公園
阿寒湖畔エコミュージアムセンター
前田一步園財団事務所

